

信仰奨励班は、日本連盟が示す「各人の信仰の奨励」に基づいて、この野営大会に参加したスカウトの一人一人が、更に明確な信仰を持つよう、また、信仰心高揚の契機となり、精神的に充実して大会を楽しむことができるよう、また、期間中に信仰奨励章の一部項目を取得できるようにプログラムを用意いたしました。

1. 信仰奨励プログラム

① テーマの設定

- ・毎日のテーマを設定し、テーマに基づいたプログラムを展開する
- ・1日のプログラムは、朝のスカウッオウン、夜のスカウッオウンを基本とする

《毎日のテーマ》

- 8/5 開会式 仲良くとけこもう
- 8/6 身につけよう
- 8/7 さらに深めよう
- 8/8 閉会式 感謝のこころ

② 掲示物の設置

- ・会場内主要場所に、宗教章の写真、今日のテーマ、B-Pの信仰奨励に関する言葉
各教宗派のみ言葉（法語）を掲示する。

③ 信仰奨励章の取得を奨励するプログラム

- ・信仰奨励章は昨年9月にベンチャースカウトプログラム改訂で、隼スカウトでは信仰奨励章取得が必修になり、ボーイスカウト年代での信仰奨励章取得が望ましいことです。
信仰奨励章を取得する為の要件は以下の9項目になっています。

- 1, 初級以上のボーイスカウト、またはベンチャースカウトであること。
- 2, 隊集会やキャンピング・ハイキングでスカウッオウンに参加する。
- 3, スカウッオウン・サービスで、自分ができる役割を果たし、ちかいとおきてを日常で実践したこと、感じたことを発表する。
- 4, 隊集会やキャンピング・ハイキングでのスカウッオウン・サービスで、主要な役割を果たす。
- 5, 「アンノンスカウト」逸話を調べ、適切な表現方式（劇・紙芝居など）で隊の仲間や他の人々に伝え、自分の「日々の善行」の実践のようすについて話す。
- 6, 班で年間を通じて行える奉仕活動を考え、隊長の指導のもとに実践する。（ターゲットバッジ G3「近隣奉仕」5と共通）
- 7, 自分の家の宗教（派）か、興味を持った宗教（派）の宗教儀礼、宗教行事、またはスカウッオウン・サービスに参加する。
- 8, 自分の家の宗教（派）か興味を持った宗教（派）の教導職から信仰や宗教について話を聞く。
- 9, B-Pのラストメッセージを読んで、班集会で話し合う。（ターゲットバッジ A8「B-P」6と共通）

- ・信仰奨励章は、特定の教宗派について取り扱うのではなく、教育規定の一般原則に「スカウッオウン・サービスは、本運動に参加する者各自の信仰心を高揚するために行われ、

それはちかいとおきての実践をより深めるものである」とあるように、日常とスカウト活動を通じて、スカウッオウン・サービスの取り組みを重視しながら、ちかいとおきての実践をより深め、信仰心への導きをうながすものです。

また、昨年9月施行のベンチャープログラム改正に伴い、ベンチャー章と隼章の進歩課目に組み込まれ、隼では取得が条件になりました。そのために、ボーイスカウト時代で取得することが望ましいことです。

また、取得についても宗教章とは違い、教導職の指導とか承認は必要なく、隊長の指導と承認で取得出来るのです。

今回の大会期間中に信仰奨励章の一部を参加スカウトが取得出来るよう、信仰奨励班はプログラムとして計画しました。前述しました9項目の内下記6項目を履修するよう指導をお願いします。

- 1, 初級以上のスカウト、またはベンチャースカウトであること。
- 2, 隊集会やキャンピング・ハイキングでスカウッオウンに参加する。(5回以上参加)
- 3, スカウッオウンで自分ができる役割を果たし「ちかいとおきて」を日常で実践したこと、感じたことを発表する。(5回以上参加)
- 4, 隊集会やキャンピング・ハイキングでのスカウッオウンで主要な役割を果たす。
- 5, 班で期間を通じて行える奉仕活動を考え、隊長の指導の下実施する。(⑥項目)
- 6, 自分の家の宗教(派)か、興味を持った宗教(派)の教導職から信仰や宗教について話を聞く。(⑧項目)

* 1項目については、参加スカウト全員クリア

* 2, 3, 4項目については、サイトにて朝礼後、終礼後に隊長主宰にて実施

* 5項目については、班集会で隊長の指導にて計画

* 6項目については、信仰奨励班サイトテントにて実施しますので指示をお願いします。

④ スカウッオウンについて

従来スカウッオウンというと、集合して歌をうたい、話をし、黙想というパターンになっていました。今回の信仰奨励章のスカウッオウンでは隊長が主宰して頂き、参加スカウト一人一人が決意と、反省をする中でちかいとおきてを自覚し、日々の善行の実践に繋がるようにご指導下さい。その進め方の例をあげておきます。

・進め方(例)

- 1, 集 合
- 2, 黙 想 (静に目を閉じる時間)
- 3, 歌 (活動のテーマに合ったもの)
- 4, おきての唱和 (活動のテーマにあったもの)
- 5, B・Pの言葉 (テーマに合った短い話をする)
- 6, 発表 (参加者1人1人が、朝は今日の自分が取り組むことの決意、夕べは今日の取り組んだ事の反省を述べる。
- 7, 黙とう (祈りの時間、朝は自分の取り組むことをちかい、夕べは感謝する)